

2025年度 第3回6月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2025年6月18日(水)
2. 開催の場所 栃木放送本社会議室
参加できない委員には資料を送付して番組をお聞きいただき、意見・感想を返信してもらう形式で開催。
3. 委員の出席 委員総数9名
返信総数3名
出席総数6名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	副委員長	河又弘子
	委員	竹内明子
	委員	若井明香
	委員	高橋久夫
	委員	小川俊彦
	委員	藤原紀沙
	委員	井出智子
	委員	北條俊明

4. 議 題

- (1) 日曜日午前ワイド サンデーとちぎ

8:15~8:30 放送中

「あなたの心の杖」

試聴素材 ①2025.5.11 ②2025.5.18 放送分を試聴

- (2) その他

5. 議事内容

- (1) 「あなたの心の杖」について

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴して頂きました。

議題説明

「これから先の生き方を探る」「ここに寄り添いともに歩む」をコンセプトに、そのヒントを高岡住職が語ります。また仏教などへの疑問・質問にも答えていただきます。「生きる事は恩をいただく事 生きる事は恩をお返しする事、辛く苦しい世の中だけど 愛するもの 大切な人の為 心の杖を差し上げたい」仏教や生き方など堅苦しくなりそうな話を高岡住職が優しく明るく語る番組です。

ナビゲーター

高岡哲也（茂木町 浄土宗慈眼寺住職）静岡県出身 1959年生まれ 結婚後、仏教の道へアシスタント

田村 愛

各委員からは

- 『あなたの心の杖』は、仏教の教えを題材にしつつも、落ち着いた語り口と自然体の語り手によって、説教臭さを感じさせずに聴けた。アシスタントの田村さんは要点を整理し、内容を補完する役割を果たしており、リスナーの理解を助けていた。BGMも程よく、休日の朝に心地よく聴ける番組だと感じた。
- 日曜朝にぴったりの穏やかな語りで始まり、とても心地よく聴ける番組だと感じた。仏教の話というと説法のように堅い印象があるが、アシスタントの田村さんとの自然な掛け合いで、若い世代にも届きやすい内容になっていた。「捨てること10個」は興味深かったが、情報量が多く、一度では理解しづらくて3回聴いた。耳から入る言葉は活字よりも心に入りやすく、仏教が日常に息づいていることを実感できる良い構成だったと思う。曲紹介については、選曲の意図やアーティストの呼び方に一貫性がないのが少し気になった。「教えて。てっちゃん上人」の呼び名も親しみはあるが、「住職」でも十分伝わるのではと感じた。全体として、無理なく聴けて多くの気づきがあり、宗教へのハードルを下げる意味でも意義のある番組だと思った。
- 日曜朝の短い放送時間ながら、高岡住職の落ち着いた丁寧な語り口と、田村さんの明るくはきはきとした話し方のバランスがとても良く、リラックスして聴ける番組だと感じた。リスナーからの素朴な質問にも真摯に答えながら、ユーモアを交えた返しもあり、親しみが持てた。全体として堅苦しさがなく、また聴きたいと思える心地よい内容だった。マイナスポイントも特に感じず、安心して楽しめる番組だと思った。
- この番組を聴いて、人の心に届く力がある内容だと感じた。こうした番組が存在すること自体、とても良いことだと思う。ただ、浄土宗の教義について、もう少し深く触れて説明があってもよかったのではないかと感じた。仏教は現代の生活の中で身近に感じにくく

なっているが、千年以上続く文化として、派生する言葉や考え方を紹介することで、より多くの人の心に届くのではないかと思う。中でも「掃除」の話が心に残り、修行の中で掃除を続ける意味を語る場面にとっても惹かれた。

○高岡住職の語りは親しみやすく、住職の人柄や経歴の紹介もあって、話が説教臭くならず受け入れやすいと感じた。放送回によって構成が異なっていた点が気になり、意図があるのならそのねらいを知りたいと思った。特に18日の「やめるべきこと10」は情報が多く、内容をもう少し絞った方が伝わりやすいと感じた。

○番組名が「あなたの心の杖」というからには、もう少し仏教や浄土宗の教えについて深く語ってほしかったという期待があり、内容的にはやや物足りなさを感じた。中院などの話は興味深く、特に板前の身だしなみの話は印象に残った。宗教心が薄れがちな今こそ、こうした番組はもっと必要だと感じた。「やめることの10ヶ条」は内容自体、共感できる部分も多かったが、テンポが早くて反論も整理もできないまま一気に話が進んでしまい、聞き手としては消化しきれず、もったいなかったと感じた。田村愛さんの合いの手は非常に良く、リスナーの理解を助けている点は共感できた。

○修行を積んだ方の語りが求められている今、高岡住職は軽快で自然な話し方ができるラジオ向きの人だと感じた。日曜の朝に肩の力を抜いて聴ける内容で、仏教が特別な行事だけでなく、日常に根ざしたものであることを改めて気づかせてくれる番組だったと思う。ただ18日の「やめること10」は情報が多くて整理しづらく、1回に1つずつ丁寧に取り上げた方が理解しやすかったと感じた。アシスタントの田村愛さんについては、声のトーンが可愛らしすぎて「てっちゃん上人」という呼び方と合わず、少し違和感があった。コーナー名として活用するならよいが、語りのトーンにはもう少し落ち着きがあってもよいと感じた。全体としては、住職の話し方が自然で親しみやすく、今後も続けてほしい番組だと思った。

○日曜朝 8時半という時間帯や「あなたの心の杖」という番組タイトルは非常に合っていて、落ち着いて聴けると感じた。ネットでは得にくい、修行を積んだ僧侶からのシンプルで普遍的な言葉は、現代にも通じる力がある。放送を通じて「やらないことを決める」ことの大切さに気づき、心の安らぎを得られる番組だと感じた。

○現代は心が疲れやすい時代で、私自身もそう感じている中、固くなりがちな仏教の話を明るく聴ける番組のコンセプトはとても良いと感じた。日曜朝という時間帯や15分という長さも、ゆったり過ごしたい人にはちょうどよく、住職やアシスタントの語りも雰囲気合っていた。ただ、毎回テーマが多く、話にメリハリがなくて印象がぼやけることがあり、特に「辞めること10個」は情報量が多すぎた。冒頭の軽い話から本題に入る流れも分か

りづらく、聞き逃してしまうこともあった。番組として、キーワードやまとめの明示、構成の工夫があるとより伝わりやすくなると思う。高岡住職の異色の経歴を生かし、具体的な事例を交えて語ってもらえると、さらに心に残る番組になると感じた。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の意見の概要の公表

- ① 当社の番組「栃木放送からのお知らせ」（2025年6月29日）
- ② 当社のホームページに掲載（2025年6月30日）
- ③ 当社事務局に議事録備え置き（2025年6月30日～）

以上